

CLOSE
UP!

インスリン治療中の 糖尿病患者さんに対する 持続グルコースモニタリング



■説明は、
内分泌・代謝内科
副診療科長
吉田 守美子(よしだ すみこ)
【お問い合わせ先】
内外科科
TEL/088-633-7118

● フラッシュグルコースモニタリングシステム (FreeStyleリブレ) について紹介します

インスリン治療中の糖尿病患者さんにとって、血糖自己測定は治療を安全かつ有効にする最も重要な手段です。血糖測定に革新が起こっています。小型のセンサーを上腕に装着すると、最長14日間、皮下のグルコース値(≒血糖値)が測定でき、携帯サイズのReaderを付着部位にかざすだけで、グルコース値を簡単に知ることができます。頻回に測定することによって、食事、運動、インスリンがグルコース値におよぼす影響や、就寝中を含む24時間にわたってのグルコース値の変動を把握できます。これを使用することで低血糖を減らし、HbA1cを低下させるなど糖尿病の良好な管理につながります。皮下のグルコース値は、血糖値に近い値ですが、ずれる場合がありますので、従来の指先穿刺による血糖測定も併用する必要があります。

Abbott社 FreeStyleリブレ

センサー (使いすて)

Reader

直径35mm

厚さ5mm



※実物大



※実物大

メッセージ

現在の
グルコース値

食事のメモ

電極挿入口



メモの追加

グルコース値
トレンド矢印追加
インスリンメモ

グルコースグラフ



当院では主に1型糖尿病、糖尿病合併妊娠の患者さんにおすすめしています。

レントゲン、CT、MRIの検査の際は取り外す必要があります。

出荷時較正済、
使用時の血糖自己測定による較正は必要ありません。

- 最長14日間、1分毎に測定し、
15分毎にグルコース値を自動的に記録

詳しくは、内分泌・代謝内科にご相談ください。